

教科名	音 楽	週時間数	1	学 年	3年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 中学生の音楽 2・3年下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 コーラスフェスティバル (正進社)				

指導の重点	「主体性」を基にした「学習への意欲と態度」「表現を工夫する能力」「聴く能力				
教科のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱う内容について、興味・関心をもって取り組める。 ・聴く人の心に響く合唱をめざして、表現を工夫することができる。 ・楽曲の歌詞の意味や曲調を理解し、表現に結び付けることができる。 ・合唱活動ではより深い表現を目指して練習し、全体に高めていくことができる。 ・作曲者の生い立ちや楽曲の時代背景を理解して鑑賞することができる。 				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・学習は一斉授業を中心に行う。(お互いに離れて練習する) ・合唱練習では、パート別に小グループに分かれて行う。 ・必要に応じて、個人練習やペア練習を行う。 				
定期考査	出題方針	授業の内容を中心に出題する。			
	範囲 (予定)	1学期期末 2学期期末 学年末	1学期の学習内容 2学期の学習内容 3学期の学習内容		
評価方法	主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 プリントの内容や提出状況 ・筆記テストの内容が表現の技能に生かされているか ・定期テスト 			
	思考・判断・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 定期テスト 実技テスト ・合唱 パート練習等における話し合いや表現の工夫 ・鑑賞 作曲者のメッセージを音楽表現の中から感じ取りその良さを味わって聴く 			
	知識・理解	活動の様子 実技テスト(楽譜の読み取り、発声や表現力			
学習方法	授業ごとに課題意識をもち、個人の課題やパート練習では、前向きな話し合いをもと音楽の良さを感じとり、豊かな表現力を養う				

学期	月	学習内容	学習のポイント
1 学 期	4	・パート分け 課題曲練習	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱コンクールに向けて全体のバランスをよく考えて決める。 ・自分の声質を知り、自分に合ったパートを選ぶ。 ・効率よく音程をとるために集中して聴く。 ・音程や発声等、自分の課題を見つけ、仲間で助け合って練習する。 ・自分の声質を知り、練習する。 ・音楽記号と曲との関わりを考える。 ・合唱におけるクラスの特徴を考えながら、自由曲の候補曲を聴き、クラスの自由曲をきめる。（鑑賞） ・楽器の特性を生かしたオーケストレーションを味わって聴く。
	5	（音程中心）	
	6	自由曲決め→音程練習 課題曲の表現方法を楽譜を見て理解する	
	7	鑑賞 交響詩 フィンランディア	
2 学 期	9	合唱コンクールの曲中心 （～10月末まで）	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いをリスペクトし、主体的に練習に取り組む。 ・作曲者のメッセージを楽譜上のテクスチャを元に表現方法を考える。（言葉と旋律との関わり） ・指揮者、伴奏者、そして他声部のメロディと息を合わせ、気持ちを込めて表現する。 ・作曲者の時代背景を知り、旋律との関わりを感じながら聴く。 ・バロックから近代の名曲を鑑賞する
	10	・他クラスの合唱曲を鑑賞する	
	11	連作交響詩「ブルタバ」	
	12	卒業式に向けて 式歌（音程中心） 音楽史	
3 学 期	1	ラヴェル 「ボレロ」	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴と時代背景との関わりについて理解する ・雅楽の演奏形態と楽器を知る。 ・歌詞をよく読んで曲想を理解し、表現につなげる。 ・最後の発表の場である卒業式に向けて、これまでの知識・表現力と心を合わせて合唱する。
	2	卒業式に向けて 式歌（～3月）	
	3	卒業式に向けて 式歌発表	